

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束は行動抑制である。個別的に器具を使用 しての直接身体抑制は理解しやすい。それ以外の 行動抑制を含め具体的に理解する。	要介護者の『おもいを察する』	身体拘束を考える委員会の設置・外部研修を含め 身体拘束(行動抑制)とはを具体的にする。	12ヶ月
2		→アセスメント→施設介護計画作成→ケア実践→ モニタリング→の循環のなかで、その内容の充実と 各書類の整合	生活歴・本人及び家族の思いを的確に把握す る。書類の書式を改善する。各書類の整合性の 精査する。	アセスメント・経過記録・介護記録の書式及びその 内容を充実する。	3ヶ月
3		施設及び敷地の有効活用	苑庭を出来る限り安全に自分の思いのまま散 策できるように工夫する。外部の人でもちょっと 寄ってみようかと思える開放的な雰囲気を作る	表玄関の開放・散策道を季節感が感じれように工 夫し、途中の畑を有効利用する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。